

ダイニングテーブル 組立説明書

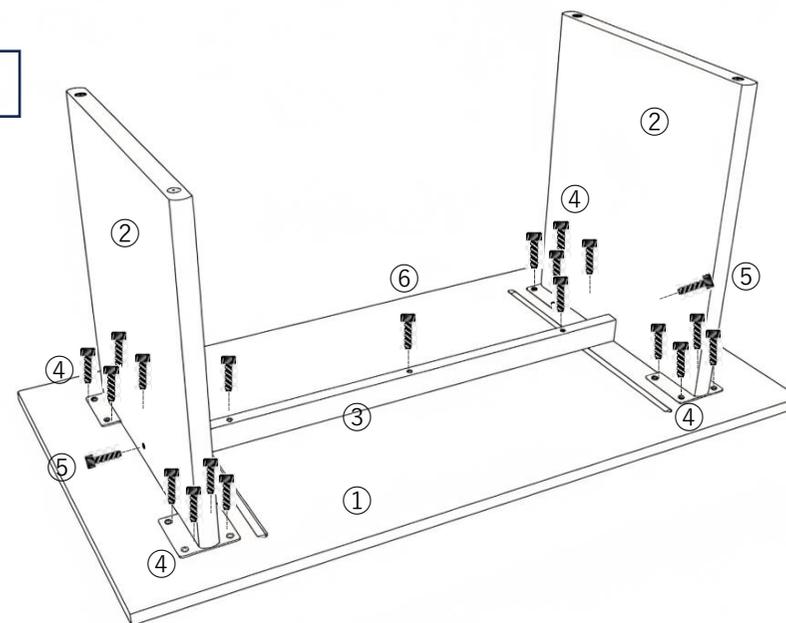


部品リスト

全てのパーツが揃っているか、組み立て前にご確認ください。

NO	部品名	数量	NO	部品名	数量
①	天板	1	④	ボルト小	16
②	脚	2	⑤	ボルト中	2
			⑥	ボルト大	3
③	貫	1	⑦	六角レンチ	1

図 1



手順

後半に記載の「組み立てポイント」と「注意点」もご確認ください。

1

①天板の裏側の2枚の②脚を置きます。

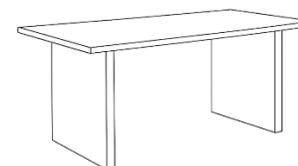
2

天板中央に③貫を置きます。
※仮止めした後に、⑦六角レンチを使用してしっかりと締め込んでください。

3

商品を起こしてぐらつきがある場合、アジャスターを使って調整して完成です。

完成図



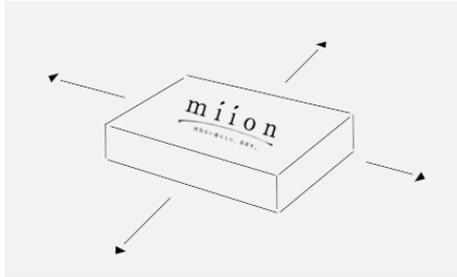


組み立てポイント

組み立ての時に大切なポイントをまとめました。

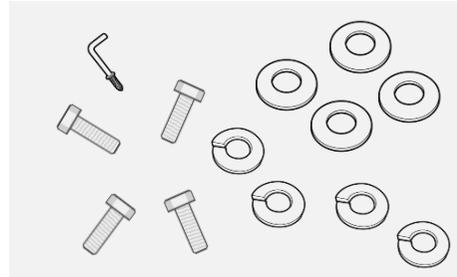
組み立ての作業スペースを確保

まずは作業スペースをしっかりと確保しましょう。組み立てるスペースはもちろんですが、組み立て前の部品の確認や、その後の部品をわかりやすく置いておくスペースも考えておきましょう。



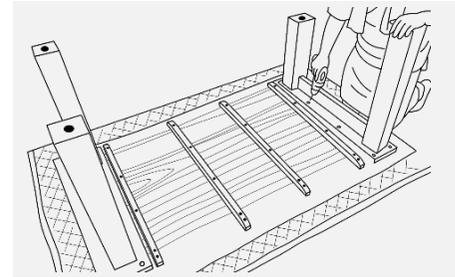
部品は揃ってますか？

組み立て前の必須ポイントが部品確認。数や部品は揃っているのか？ どの部品が何のための物なのか？ 始めに見ておく作業もスムーズに。万が一部品が足りなかった場合も組み立て前に連絡ができます。



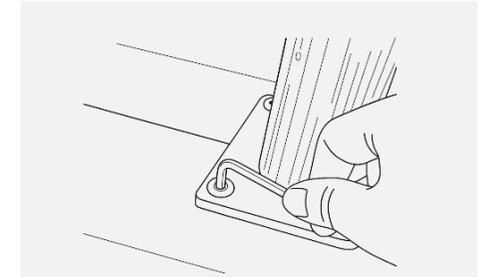
傷が付かないよう、床に毛布を

テーブルなどの組み立てをする際、床に直接部品を置くと、床と部品に摩擦が生じて、傷が付くことがあります。大きめの毛布などを用意して、その上で作業することをおすすめします。



ねじ、ボルト類は仮締めから

組み立てを行うとき、最初から10割の力で締めると、微妙なズレが調節できずに最後に組みあがらないこともあります。始めは7-8割の力で仮締めを行い、全体の形ができてから本締めを行うようにしましょう。



注意点

組み立て前に必ずご一読ください。

- ※商品を起こす際は、重量がありますので十分に注意して起こしてください。
- ※過度の締めすぎは脚、フレーム、ナット等の破損、金具の変形の恐れがありますのでご注意ください。
- ※無理に引きずると、脚部の折れや不良につながる恐れがございます。
- ※メンテナンスのため、年に一回はねじ類の締め直しをおすすめします。
- ※乱暴な取り扱いや用途以外、傾斜面や段差のある所では使用しないでください。
- ※脚を軸にして起こしますと、事故や破損の原因となる可能性がありますので、商品本体を持ち上げて起こすようにしてください。

品質表示

外形寸法 幅1500mm×奥行800mm×高さ730cmm

構造部材 天板・脚部：ラバーウッド

表面加工 天板（ウレタン塗装）/脚（ウレタン塗装）

製造国 日本

ホルムアルデヒド等級 F☆☆☆☆

ご不明点があれば、まずは下記窓口までご連絡ください。

表示者：株式会社 キラリオ 〒601-8468 京都府京都市中南区唐橋西平垣町39-1 丸福ビル2F E-Mail : info@miion.jp TEL : 075-634-3090（平日10時-17時）

ご使用時にお守りいただきたいこと

大切な家具を、長くお使いいただくために。なによりも、お客さまご自身の身の安全を守るために。以下に記載したお約束をお守りください。



誤った取り扱いにより、死亡や重傷を負うなどの事故が生じる可能性について記載しています。



誤った取り扱いにより、軽傷や物的損害が生じる可能性について記載しています。



してはいけない禁止事項やご注意いただきたい注意ことについて記載しています。

- 火気や暖房器具などに近づけないでください。熱により火災になったり、火傷を負う恐れがあります。
- 廃棄する際は専門業者へお任せください。焼却すると有毒ガスが発生したり、破裂などによりけがをする場合があります。
- 組立式の商品は、必ず組立説明書に沿って、組み立てや分解を行ってください。組立式ではない商品の分解は行わないでください。
- 家具の上に不安定な物や、家具の安定性を保てなくなるような物を乗せないでください。転倒、落下によりけがをする場合があります。
- 乳幼児や介護を要する方のご使用には十分ご注意ください。転倒や落下、窒息により、死亡、重症を負う原因となることがあります。
- 改造を行ったり保安部品を外したりしないでください。破損や事故によってけがをする場合があります。
- 不要になった梱包資材はすぐに処分しお、子さまの手の届くところに置かないでください。特にビニール系の袋をかぶると窒息する恐れがあるのでご注意ください。
- 家具で電源コードを踏んでいないか、また設置時に壁と家具の間に電源コードが挟まれていないかご確認ください。破損により火災の原因となります。

- 家具の上に立ったり飛び跳ねたりしないでください。転倒や落下によりけがをする場合があります。
- 家具表面にセロハンテープや付箋など粘着性のあるものを貼らないでください。表面材の剥がれや色落ちの原因となります。
- 一部のビニール製のマットやテーブルクロスなどで長時間覆わないでください。湿気や化学反応で張り付いたり、変色したり、表面塗料が剥がれたりする原因となります。
- 天板に加熱された鍋、ケトルなどを直接置かないでください。変形や変色の原因となります。

- 直射日光や冷暖房器具などの冷温風が直接家具に当たらないようにしてください。家具の変色、変形の原因となります。
- ネジやボルトのゆるみやその他の異常を発見したまま家具の使用を続けしないでください。破損によりけがをする場合があります。
- 温度・湿度の変化により、無垢材の部分や、突板に割れや反りが生じることがあります。加湿、除湿を行い、室内の環境を一定に保つようお願いいたします。
- 傾斜の多い所を避け、水平な場所に設置してください。ぐらつきや異常音など、故障の原因となります。
- 家具を移動させる際に床材を傷つけたり設置部位を破損させたりする恐れがありますので、必ず2人以上で持ち上げて移動を行ってください。
- 壁紙や床材に家具が直接接触すると、家具の塗料と化学反応を起こし、色移りや変色の原因となることがあります。
- 床材の種類によっては、ご購入いただいた家具を設置、使用することにより傷や凹みが付く可能性があります。
- ペットの尿（アンモニア）、除光液、整髪料などの水溶液や溶剤などが家具に付着すると、変色や変質（べたつき）などの原因となりますのでご注意ください。
- 市販の家具用洗剤などを使用する場合は、その取扱説明書に従い、お客さまご自身の責任においてご使用ください。
- 一般家庭用として設計・製作しています。業務使用を想定して作られたものではございません。